

差し込み印刷（ラベル）

ラベル印刷

市販のラベル用紙を利用して、1 ページ中に複数の宛名を差し込んで印刷したい、というような時にも、Word の差し込み印刷機能が使えます。

ここでは、市販のラベル用紙(A-ONE A4 インクジェットラベルシール 10 面 28939) のテンプレートを使った例で、解説します。

ラベル印刷のためのリストを Excel で作成

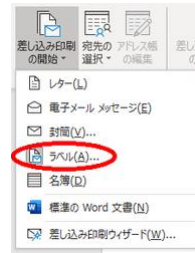
最初に住所録のデータを Excel で作成しておきます。

	A	B	C	D
1	番号	氏名	郵便番号	住所
2	1	浅井 康重	〒298-0126	千葉県いすみ市今関689-1
3	2	小田 靖	〒270-1342	千葉県印西市高花1-6-2-1103
4	3	可合 勝利	〒294-0036	千葉県銚山市館山1062
5	4	木村 茂	〒264-0032	千葉県千葉市若葉区みつわ台2-23-6
6	5	齋藤 浩史	〒273-0853	千葉県船橋市金杉3-2-7
7	6	田中 雅宏	〒299-1163	千葉県君津市土師3-18-17
8	7	松田 久	〒299-4301	千葉県長生郡一宮町一宮3042
9	8	吉田 正幸	〒273-0011	千葉県船橋市湊町2-14-13-806

ラベル印刷をする住所録データを Excel で作成

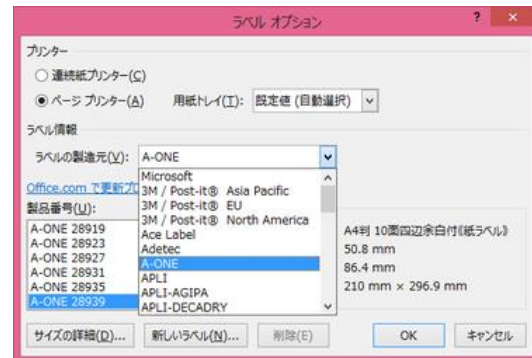
ラベル用紙の選択

次に、Word の新規文書 (白紙の文書) を立ち上げ、「差し込み文書」タブの「差し込み印刷の開始」から「ラベル」を選びます。

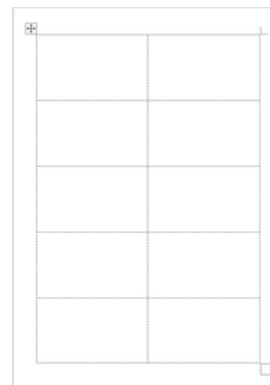


「差し込み印刷の開始」で「ラベル」を選択

「ラベルオプション」のダイアログボックスで、製造元 (ここでは A-ONE) と製品番号 (ここでは A-ONE 28939) を選び、「OK」ボタンを押すと、この製品のためのテンプレートが表示されます。



ラベル用紙の製品番号を選択



そのラベルシート用のテンプレートが表示される

差し込み方の設定

(1) 左上の欄(ラベル面)の左上端にカーサーがある状態で、「宛先の選択」から「既存リストの使用」で、住所録のデータに結びつけると、残りの欄には<<Next Record>>が埋め込まれます。

この<<Next Record>>が次のレコードを処理させるキーワードです。

	<Next Record>
<Next Record>	<Next Record>
<Next Record>	<Next Record>

(1) データをリンクすると、<<Next Record>>が埋め込まれる

(2) 「差し込みフィールドの挿入」を使って、左上の面の然るべき箇所に、郵便番号、住所、氏名(このケースでは様を付けています)の差し込みフィールドを挿入します。

郵便番号 <住所> <氏名> 様	<Next Record>
<Next Record>	<Next Record>
<Next Record>	<Next Record>

(2) しかるべき場所に差し込みフィールドを設定する

(3) 左上の面で、すべての差し込みフィールドの挿入を終えたら、それらをコピーして、他の面に貼り付けします。

(このケースでは、レコード件数が 8 件しかないなので、最後の 2 つの欄は<<Next Record>>のみにしておきます。)

郵便番号 <住所> <氏名> 様	郵便番号 <住所> <氏名> 様
郵便番号 <住所> <氏名> 様	郵便番号 <住所> <氏名> 様
<Next Record>	<Next Record>

(3) 差し込みフィールドを他の面にコピーする

(4)「結果のプレビュー」で差し込み後のイメージが確認できます。

問題がなければ、この Word 文書を保存しておくことをお勧めします。



〒298-0126 千葉県いすみ市今関 699-1 浅井 康宣 様	〒210-1342 千葉県印西市高花 1-6-2-1103 小田 靖 様
〒284-0036 千葉県館山市館山 1062 可合 勝利 様	〒264-0032 千葉県千葉市志保区みつわ台 2-23-6 木村 茂 様

(4)「結果のプレビュー」でイメージを確認する

最後に、「完了と差し込み」で「文書の印刷」を選びます。

【便利知識】

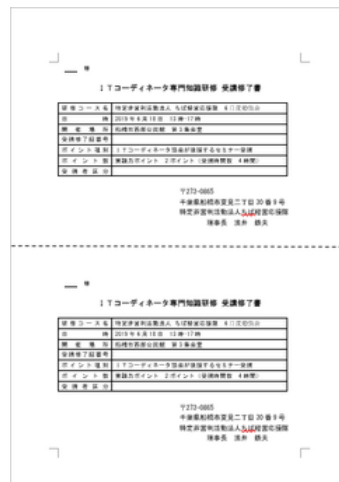
カーサーが枠の左上にある時は、改行(Enter)キーを押すと、枠の上にカーサーが移ってしまいます。このような時に枠内でカーサーを動かしたければ、**Shift キーを押しながら改行(Enter)キーを押します。**

1 文書に複数のレコードを差し込む方法

【便利知識】

「標準の Word 文書」などで始めた文書でも、<<Next Record>>が設定されていれば、差し込み処理の際にその場所で次のレコードに移ります。

例えば、A4 の用紙に、切り取り線を入れて、上下 2 つの A5 の用紙の形で、2 つのレコードを 1 ページに納めるなどの使い方ができるのです。



切り取り線で上下に分かれたフォームの例

具体的には、次のレコードに移らせたい箇所にカーサーを置いておいて、「差し込み文書」タブの「ルール」から「Next Record (次のレコード)」を選びます。

【便利知識】

手動で「<<Next Record>>」と入力しても構いません。むしろその方が操作が楽かもしれません。

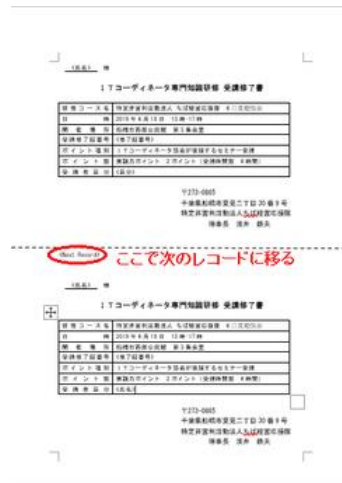


「差し込み文書」の「ルール」で「Next Record」を選ぶ



切り取り線の下にカーサーを置き、<<Next Record>>を挿入する

切り取り線の前後のフォームには、それぞれ所定の場所に差し込みフィールドの挿入を行います。



差し込みフィールドは上下それぞれの所定の場所に挿入する

「結果のプレビュー」で差し込み後のイメージを確認し、「完了と差し込み」で「文書の印刷」を行うという操作はラベル印刷の場合と同じです。